

平成20年（2008年）4月4日

横須賀市議会議員様

横須賀市企画調整部長

横須賀市内において発生した殺人事件について（報告）

3月19日に発生した標記の事件について、本日、木村仁外務副大臣が蒲谷横須賀市長を訪問しました。

その際の会見概要について報告します。

事務担当：基地対策課
内線1376

平成20年3月19日に横須賀市内において発生した
殺人事件に係る市長と外務副大臣の面会内容について

日 時 平成20年4月4日(金) 13:30～

要 請 者 横須賀市 蒲谷 亮一 市長
山口 道夫 市議会議長

対 応 者 外務省 木村 仁 外務副大臣

同 席 者 横須賀市 杉本 俊一 副市長
上田 順子 副市長
嶋田 晃 市議会副議長

外務省 鈴木 量博 日米安全保障条約課長 他

外務省から説明があった。

木村副大臣

本日は、政府の立場と今後の対応についてお話したい。
平成18年1月の事件に続いて今回の事件が再び起こったことは、日本国政府として極めて遺憾である。
昨日午後2時50分、高村大臣がシーファー大使を外務省に召致し極めて強い遺憾の意を表明した。あわせて大変凶悪な事件なのでその犯人の身柄を起訴前に引渡すよう申し入れた。
このような事件が再び起こらないよう再発防止、綱紀粛正を申し入れた。
大使からは「極めて遺憾に思っている。起訴前の引渡しについては直ちに対応する」と約束し、その後犯人の引渡しについては迅速に行われた。
今後は、再発防止に最大の力点をおいて、対応を協議してまいりたい。犯人については日本の法律に基づき厳正に処分が行われると考えている。

市長

抗議文を読み上げます。

(抗議文読み上げ)

市議会議長

議会としても要請いたします。

(抗議文読み上げ)

木村副大臣

脱走兵についての連絡は今回は十分に行われていなかった。
脱走がはっきりしたら政府と地元で連絡が来る方向で今後
米側と協議していく。

(抗議文を市長並びに市議会議長から木村仁外務副大臣に手渡す)

横企基第7号

平成20年(2008年)4月4日

外務大臣

高村正彦様

横須賀市長 蒲谷亮一

米兵が被疑者となっている殺人事件について

平成20年3月19日に横須賀市内において発生した殺人事件に関し、脱走兵として拘束されていた米兵が被疑者として逮捕されました。

これまでの再三にわたる米側に対する綱紀粛正、再発防止の要請にもかかわらず、今回また、米軍関係者によりこのような事件が引き起こされたことは、極めて遺憾であり、強い憤りを禁じ得ません。

一部の不心得者の所業ということでは、到底済まされる問題ではありません。

政府においては、米側に今回の事件が日米の友好関係にも悪影響を及ぼす事態であることを認識させ、猛省を促すとともに、日米両政府において、二度とこのような事件を起こさないための、あらゆる措置を講じるよう強く要請します。

なお、今回の事件を受け、在日米軍における所属部隊からの脱走兵に関する情報提供やその対応について然るべき措置を講じることを要請します。